

食育事業取組報告書(猿橋小)

食育活動区分	(該当するものを口で囲む) 育てる・ <u>作る</u> ・ <u>食べる</u> ・返す	実施年月日	令和7年6月～2月
教科名	総合的な学習の時間	指導者	1. 栄養教諭 2. 担任 3. JA北越後農協広報課 4. 和菓子作り講話
単元名	「伝えよう新発田の食文化」		
ねらい	①新発田のアスパラガスを試食したり、その普及に力を注ぐ人々から話を聞いたりすることを通して、アスパラガスの魅力が分かり、ふるさとへの愛着を深める。 ②新発田の和菓子を調べたり、和菓子を伝承する人々の思いや願いに触れたりすることで、新発田の良さを広めようとする態度を育てる。		
児童・生徒の活動		支援・指導上の留意点	
<p>1次 新発田の宝物を探そう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習のめあて「自分たちの住むふるさと新発田の宝物を知り、学習していこう」を知る。 ・新発田の宝物を知るために、家庭でのインタビューを行う。 ・「アスパラガス」「和菓子」をテーマに調査を進める。 <p>2次「アスパラガス」について調べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスパラガスの観察や試食をする。 ・アスパラガスの秘密を探り、疑問を解決する。 ・アスパラガスのよさをまとめる。 <p>3次「新発田の和菓子について調べよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族に和菓子についてのインタビューを行う。 ・和菓子の歴史や職人さんの思いを知る。 ・和菓子職人さんを招き、学習会を行い、疑問を解決する。 ・さつまいもの茶巾絞り作りにチャレンジする。(保護者ボランティアを募り、一緒に作る) ・和菓子のよさを絵手紙でまとめる。 		<p>◆栄養教諭やJA北越後広報課の方、和菓子職人さんと連携し、講話や試食を行う。</p> <p>◆ICTを活用し、調べ活動やクイズ作りなどの活動を進める。</p> <p>◆保護者ボランティアを募集し、安全面に配慮して調理自習を行う。</p>	
			
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学年の発達段階に応じた食育指導を実施することができ、食に対する関心やマナーを向上させることができた。 ・新発田産の食材の魅力についてタブレットで調べたり、実際に食べたり作ったりする経験を振り返ったりしたことを、学習参観での発表などで発信することができた。 ・6年「ふるさと新発田弁当を作ろう」では、新発田市教育総務課栄養士からおいしいお弁当のコツを学び、新発田の特産物を調べ、実際に自分たちで考えたお弁当を作ることができた。 ・学習したことを給食の献立への提案につなげるなどより広く発信することや地域の人材やお店などを発掘し、協働した学習が展開できるようにしていきたい。 		
家庭・地域の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・有機資源センターからの堆肥を活用し、花や野菜などの栽培活動を行うことができた。(1～4、6学年、学習室) ・JA北越後、和菓子職人、社会福祉協議会等の関係者、機関との連携を図りながら、学習を進めた。(3、4年) ・「元気アップカード」を活用し、健康に過ごす習慣や朝食の大切さを親子で確認することができた。(全学年) ・夏休みや冬休みには、家庭科で学習したことを家庭で実践する課題を出し、家庭での協力をお願いした。長期休み中であったが、作った料理は、一人1台のタブレットを使って写真を担任に提出した。(5、6学年) 		